

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 被災地での住まいの再建について</p> <p>(1) これまでに特定非常災害に指定された大規模地震における、半壊以上の家屋のうち解体された割合と、令和6年能登半島地震で解体申請されている家屋の罹災状況の4区分ごとの割合を聞く。</p> <p>(2) 令和6年能登半島地震の住宅被害や災害公営住宅への入居希望世帯数が平成19年能登半島地震より多い結果について、過去の大規模地震との比較を含めた分析・見解を聞く。</p> <p>(3) 災害公営住宅について</p> <p>ア 広さや間取り、建設場所、集合住宅か戸建てか、介護施設・診療所の併設の有無、将来空き家になった場合の活用方法などについて、奥能登6市町においてどのように検討し、被災者に対して説明をしているのか。</p> <p>イ できるだけ低廉な家賃となるよう市町に働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 建設主体の市町を積極的に支援すべきと考えるがどうか。</p> <p>エ 希望する全ての世帯が入居できるよう、入居制限緩和期間の延長を国に働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 家屋の一部解体についても公費解体の対象となることを、あらかじめ周知すべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) いしかわ型復興住宅の施工業者に対し、積極的な県産材の活用を働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>(6) 各種支援制度や相談窓口をまとめたハンドブックには、実例を踏まえたQ&Aや具体的な事例などを盛り込んでほしいが、どのような内容を検討しているのか。</p> <p>(7) 住まいの再建を県政出前講座のテーマに加え、県の取り組み成果や、被災地に寄り添っていることを伝えてはどうか。</p>	<p>知 事 復旧・復興推進部長 生活環境部長 農林水産部長 土 木 部 長</p>
<p>2 教育旅行について</p> <p>(1) 修学旅行の令和6年度の来県校数を聞く。</p> <p>(2) 修学旅行の誘致についての本県独自の取り組みを聞く。</p> <p>(3) 震災学習プログラムはどのような内容になるのか。</p> <p>(4) 県立学校以外の小中学校に対しても、震災学習で能登を訪れるよう働きかけるべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 文化観光スポーツ部長 教 育 長</p>

この質疑要旨は、3月7日午後6時50分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>3 梯川水系緊急治水対策プロジェクトについて</p> <p>(1) 先般示された河川整備基本方針の変更案では、計画見直しのきっかけとなった前提条件にどのような変更があったのか。</p> <p>(2) 洪水調節施設として新たに整備する遊水地の場所と、基本方針変更によるプロジェクトの今後のスケジュールへの影響を聞く。</p>	<p>知 事 土 木 部 長</p>
<p>4 水道事業について</p> <p>(1) 県水送水管耐震化について、令和12年度の完成を目指し、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 送水管耐震化や施設改修等に多額の費用がかかると予想される中で健全な経営を進めるにあたり、責任水量や給水料金を含めて今後の方針を聞く。</p> <p>(3) 水道事業の広域化に関し、県には水道事業者である市町間の協議を調整する役割が求められているところ、協議の現状を聞く。</p> <p>(4) 創造的復興プランに記されている、市町による小規模分散型水循環システムは具体的にどのようなものを想定しているのか。</p>	<p>知 事 総 務 部 長 生活環境部長 土 木 部 長</p>
<p>5 尾小屋鉾山資料館について</p> <p>(1) リニューアルに向けた検討の状況や今後の計画について聞く。</p> <p>(2) 国道416号尾小屋町から新保町間の安全対策について、今年度の取組状況及び来年度の計画と、令和4年8月豪雨からの復旧状況を併せて聞く。</p>	<p>知 事 文化観光スポーツ部長 土 木 部 長</p>